

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果 令和4年6月24日 単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	コクロディニウム ホリクリコイデス
1. 夏井沖						欠	測		
2. 長田沖						欠	測		
3. 片白島	9:17	0	24.3	31.25	8.3	0	0	300	0
		5	20.7	33.55	7.9	0	1	0	0
4. 小田代	9:27	0	23.5	30.81	8.4	0	0	175	0
		8	20.4	33.80	8.3	0	0	0	0
5. 沖松浦漁港	9:32	0	24.5	29.59	8.2	0	0	75	0
		5	21.0	33.66	8.5	0	0	0	0
6. 鶴見振興局裏	9:35	0	24.9	26.81	8.7	0	0	100	0
		8	20.3	33.79	8.2	0	0	0	0
7. 鶴見ボンツーン	9:38	0	24.1	29.99	8.1	0	1	0	0
		2	21.8	33.01	8.3	0	2	25	14
		5	20.7	33.73	8.5	0	1	0	0
		10	20.1	33.86	8.2	0	3	0	0
		10.8	20.1	33.85	7.8	0	1	0	0
		11.8	20.1	33.85	7.5	0	6	25	0
8. 石間	10:04	0	23.6	31.56	9.3	0	0	300	0
		5	20.9	33.58	8.2	0	0	0	0
9. 霞ヶ浦	10:13	0	25.3	31.16	10.0	0	6	525	0
		6	20.7	33.67	8.5	0	1	100	0
10. 守後	10:19	0	24.9	31.41	8.5	0	1	25	0
		5	20.8	33.59	7.9	0	0	0	0
11. 片神	10:25	0	23.5	32.39	8.1	0	0	0	0
		5	20.8	33.70	8.1	0	1	0	0
12. 片神～彦島	10:37	0	24.4	32.21	8.2	0	6	0	0
		5	20.5	33.65	7.7	0	0	0	0
13. 水試前	10:50	0	24.9	32.12	7.2	0	0	0	0
		5	20.3	33.76	7.8	0	3	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる  
 \*現在、st.7 鶴見ボンツーンにおいて自動昇降式観測機を設置していますので、QRコードまたは下記URLからご利用ください。

<http://hydro.browse.jp/hydrolift/20-Oita/oitatop.html>

参考: 赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモイ	200以上	2000以上
コクロディニウム・ホリクリコイデス	30以上	300以上

\*警戒密度は漁業被害が想定される密度です。  
 \*アワビ、ササエ等ではカレニア・ミキモイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。  
 \*マグリに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とします。



自動昇降式観測機QRコード

連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモイ、ヘテロシグマ・アカシオ、コクロディニウム・ホリクリコイデスが確認されました。  
 今後の細胞密度の推移と魚介類の管理にご注意下さい。

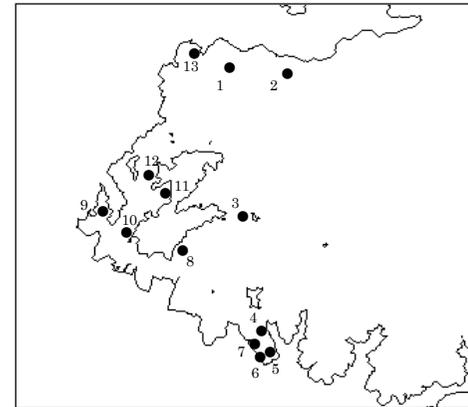


図. 調査定点図